

授業科目	老年期障害治療学Ⅱ				
担当者	井口知也（実務経験者）、森本かえで（実務経験者）、熊野宏治（実務経験者）				（オムニバス）
実務経験者の概要	井口知也：身体障害領域の病院と高齢者施設で青年期～高齢期の方への作業療法を担当、地域在住高齢者へ健康増進と認知症予防、就業プログラムを提供 森本かえで：高齢者施設で高齢期の方への外来作業療法と訪問リハビリテーションを担当、精神科病院で青年期～高齢期の方への就労支援プログラムを提供 熊野宏治（実務経験者）：身体障害領域の病院で青年期～高齢期の方への整形疾患、呼吸器疾患、がんなどの作業療法を担当				
学科名	作業療法学専攻	学 年	3 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

高齢者の特性に合わせた評価の方法、高齢者に対して使用頻度の高い生活評価、身体機能評価、認知機能評価、心理機能評価の実施方法などについて演習を実施する。評価から得られた情報をもとに全体像を把握する方法を学び、個々の文脈に沿った意味ある作業を提供し実践できる手だてを教授する。各論の個々の内容は目標を参照。

井口知也（実務経験者）、森本かえで（実務経験者）、熊野宏治（実務経験者）

■ 到達目標

- 1) 老年期での作業療法実践に必要な知識と技術の習得を目指す。
- 2) 高齢者を対象とした作業療法プログラムを立案できる。

■ 授業計画

- 第1回 老年期障害治療学Ⅰの振り返りと老年期障害治療学Ⅱのオリエンテーション：井口知也（実務経験者）
- 第2回 老年期作業療法の実際（プロセス）：井口知也（実務経験者）
- 第3回 老年期作業療法の実際（検査測定）：井口知也（実務経験者）
- 第4回 老年期作業療法の実際（計画立案と実施，再考）①：井口知也（実務経験者）
- 第5回 老年期作業療法の実際（計画立案と実施，再考）②：井口知也（実務経験者）
- 第6回 入所系サービスにおける作業療法：井口知也（実務経験者）
- 第7回 施設系サービスにおける作業療法：井口知也（実務経験者）
- 第8回 通所，訪問系における作業療法：森本かえで（実務経験者）
- 第9回 認知症高齢者に対する事例検討1：井口知也（実務経験者）
- 第10回 認知症高齢者に対する事例検討2：井口知也（実務経験者）
- 第11回 中枢神経疾患に対する事例検討1：井口知也（実務経験者）
- 第12回 中枢神経疾患に対する事例検討2：井口知也（実務経験者）
- 第13回 整形疾患，がんに対する事例検討1：熊野宏治（実務経験者）
- 第14回 整形疾患，がんに対する事例検討2：井口知也（実務経験者）
- 第15回 まとめ：井口知也（実務経験者）

■ 評価方法

以下の素材と割合で総合的に評価する

レポートおよび発表 40%、【科目試験（筆記試験）】60%とするが、いずれも60%以上ないと合格としない。
なお、欠席、遅刻早退は減点対象（無断遅刻・無断欠席は-10点、事前連絡のある遅刻・欠席は-5点とする）

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

講義の際、前回の内容に関する発表をしたり、レポートを提出する。また、講義前に予習として教科書を読んでくること。復習内容やレポートの内容および予習範囲は講義の最後にアナウンスする。

■ 教科書

書名：高齢期障害領域の作業療法 第2版
著者名：山田 孝 編集
出版社：中央法規

■ 参考図書

書名：作業療法学全書第7巻 老年期
著者名：村田 和香 編集
出版社：協同医書出版社

書名：作業療法学全書第13巻 地域作業療法学
著者名：太田 睦美
出版社：協同医書出版社

書名：認知症の作業療法 第2版
著者名：小川 敬之, 竹田 徳則 編集
出版社：歯薬出版

■ 留意事項

無断欠席や遅刻に注意すること。

■ 講義受講にあたって

「老年期障害治療学Ⅱ」は「作業療法治療学実習Ⅱ」「臨床評価学実習Ⅱ」「総合臨床実習ⅠⅡ」の基礎となる高齢期の方への作業療法を学ぶ。個々の文脈にある人間と生活という視点に立ち、作業の意味をしっかりと捉えること。その上で、高齢者にとっての作業とは何かを考え、生活を支援する者としての作業療法士の役割の意味を吟味してほしい。